

伊陸夢プランだより

第21号
令和5年4月27日発行
伊陸地区コミュニティ協議会

「伊陸夢プラン」の実行に向けて

伊陸地区コミュニティ協議会 会長 山本 達也
伊陸夢プラン支援協議会 会長 西川 義彦

平成30年4月に「伊陸夢プラン支援協議会」が発足して6年目に入りました。このうち、3年余りは新型コロナウイルス感染症の影響を受け続けてきました。新型コロナウイルスに関しましては、5月8日より感染症法上の扱いが、現在の2類相当から5類指定感染症へ見直されます。これにより行動制限やマスク着用等あらゆる規制が緩和され、私たちの生活も大きく変わって来る事が予想されます。しかしながら、コロナウイルスがなくなるわけではなく、以前に比べて弱毒化、致死率が大きく低下したと言われてはいますが、感染力が強く、季節を問わずに流行するウイルスである事には間違いありません。地域内の行事など、今後も慎重に状況を見極めつつ、協議しながら進めてまいりたいと思っております。引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、令和2年に「夢プラン支援協議会」は、これから取り組む大きな柱として、「デマンド交通導入」と「防災意識向上」を掲げました。

そのうち「デマンド交通導入」に関しましては、昨年10月1日に予約制乗合タクシー「いかちまいか号」が運行開始いたしました。運行状況は好調で、稼働率は50%を超えています。また先日は、高校生自らが利用登録に訪れ、「いかちまいか号」が地域へ浸透している事を感じ、感慨深い思いが致しました。

「防災意識向上」に関しましては、3月に3つの自治会で、柳井市危機管理課による「防災研修会」を開催させていただきました。現在、2つの自治会で、災害時における地域住民それぞれの情報を共有する体制づくりに向け、動き始めている所です。これらの事を、自治会長集会で報告させていただきました。集会後に、「防災研修会」で使った資料に関しての問い合わせがあり、「防災」への関心が高まっている事を感じました。

現在、伊陸地域では4つの自治会で「自主防災組織」が設立されています。

今後、防災への意識がますます高まり、多くの自治会で、いざという時に動ける体制づくりが進むよう支援して参ります。

そして、安全安心に生活できる地域を目指して参りたいと思えます。



令和4年度 地域内行事について

○5月28日(土)「伊陸小連合運動会」

入場制限がない運動会は3年ぶりでしたが、マスク着用での観覧など制限も多く、コミュニティ協議会の競技種目も「イカチ・GO! (綱引き)」のみでした。

今年度は、2種目の競技で参加予定です。

○8月14日(日)「納涼の夕べ」

コロナ対策として、飲み物のみの提供、時間短縮で行いました。(盆踊り1回など。)各地でイベントが中止になる中での「花火ショー」や「お楽しみ抽選会」は大いに盛り上がりました。

○10月10日(祝)「AkiSora ウォーク」

伊陸地区内外から43名が参加し、秋の自然を感じながら史跡や名所を歩きました。8箇所のチェックポイントで〇×クイズがあり、正解者上位には素敵な景品もありました。

○10月16日(日)「伊陸地区対抗球技大会」

昨年度同様、「グラウンドゴルフ」と「フライングディスク」の2種目を行いました。110名の方が参加され、心地よい汗を流しました。

総合優勝は「北地区」、グラウンドゴルフの優勝は「北地区」、フライングディスクの優勝は「南地区」でした。

○11月3日(祝)「文化祭 in いかち」

コミュニティ協議会初の試みで、文化的イベントを開催しました。昨年度企画したものの、コロナウィルス感染拡大により実現しなかった、新しい複合型施設見学会と、「いかちの今と昔」と題した写真・映像展を行いました。「まいかホール」では、クラリネットとピアノのデュオコンサートがあり、それを「アソビの庭」で鑑賞しました。

多くの方が来場され、懐かしい写真や映像、素敵な音色を楽しみました。

○12月18日(日)「伊陸フェスティバル 新鮮市場」

朝市や農事組合法人など8つの団体による、米や新鮮野菜、餅やみそ等の加工品、寿司や焼き芋、その他、おでんやうどん、たい焼きなどの販売がありました。また、小学校など5つの団体による「フリーマーケット」も開催されました。

イベントでは、大迫力の「石見神楽」の演舞や、1回100円の「くじ引き」や「餅まき大会」が行われました。

当日は、柳井市地域おこし協力隊の“ぶるぼん”さんに盛り上げていただき、多くの来場客で賑わいました。